

(第3種郵便物認可)

宍粟市波賀町の最北部、氷ノ山に近い標高約600㍍の道谷地区に戻り、祖父が始めた牧場でこの春から働き始めた。周囲は若者が村に戻ってきてくれたことを喜ぶが、「子どものころから牛飼いが目標だった。あそこの牛は間違いないと信頼されるようになりたい」と気負いはない。

約40頭の繁殖牛を担当。毎朝5時前に起きて母牛に牧草をやり、子牛の体温を測ってミルクを飲ませる。母子の体調に変化がないか気を配り、陣痛が始まった牛がいれば出産を見守る。

「子牛が徐々に大きくなるのがうれしい。愛情を注いで大事に飼えば、自信を持って出荷できる牛になる」

近くにスキー場がある環境で育ち、波賀中学時代にはジャイアントスラロームで県中学総体3位に。本場の長野県でも練習した。進学した千種高校へは足腰を鍛えるために自転車で片道2時間半かけて通い、3年生で国体県予選を制した。

高校卒業後は畜産を学ぶために加西市の県立農業大学校に進学した。寮生活をしながら神戸牛を肥育する農家でアルバイトをして、牛舎の管理や子牛の競りなど、牧場運営の実務を学んだ。2年間の修学期間を終え、実家に戻ることに何の迷いもなかった。

中学高校と打ち込んだスキーだが、生き物相手の仕事では滑る余裕がない。好きなことをする時間をくれた親に感謝しつつ「子どもができれば、同じように好きなことをやらせてあげたい」と笑顔を見せた。
(古根川淳也)

信頼される牛飼いに

播磨びと

岸本牧場3代目

岸本 ^{きしもと} 壮弘 ^{たけひろ}さん(20)

宍粟市波賀町道谷

